

入選

原田 珠冴駄（はらだ すざく） 愛宕小 2年生

作品名：「かちかち山」を読んで

図 書：かちかち山

「かわいそうだなあ」まいにち山にいっては、たぬきにたねを食べられたのが、かわいそうでした。けれど、元気をだして、山にいってたおじいさんはえらいとおもいました。ぼくも学校でいやなことがあってもおじいさんのようにげんきをだして、やすまずいかなくちゃなあと、おもいました。

つかまた、たぬきがおばあさんをころしてしまって、とってもひどいなあと、おもいました。ぼくがそこにいたら、やっつけてやりたかったです。

うさぎが、かなしんでいるおじいさんのために、たぬきを、やっつけようとしているすがたをみて、たぬきより、ちいさいのに、カッコイイと、おもいました。ぼくも、こまっている人がいたら、自分よりつよい人でも、やっつけて、こまっている人を、まもってあげたいです。

せなかに火をつけられたたぬきは、とてもあつそうだなあとおもったけど、わるさをして、ばちがあたったんだからしかたないとおもいます。

けれど、どろのふねで、川にしずんでしまったのは、すこしかわいそうでした。

ぼくはこの本をよんで、わるいことをすれば、いつかはばちがあたるんだと、べん強になりました。

ぼくも、たぬきみたいにならないように、うそをつかないで、人にやさしくりっぱなおとなになりたいです。

